

# 看護しずおか<sup>🌿</sup>

特集

**第49回 日本看護学会—慢性期看護—学術集会** P6・7

“私”の声を紡ぐ慢性期看護の創造～輝いて生きる～

特集 亥年の人集まれ!

**曲がったことが嫌いで辛抱強いって?亥年生まれ** P4・5

先人に聞く 忘れられない看護

**妊婦に寄り添う助産師として(第5回)** P3

シリーズ 活躍する認定看護師

**新生児集中ケア・小児救急看護認定看護師** P8

平成30年度

**Vol.5**



公益社団法人 静岡県看護協会

静岡県看護協会

検索

<http://www.shizuoka-na.jp>

「静岡県看護協会」  
お気軽にご利用下さい。



## 平成31年 新年あいさつ

(公社)静岡県看護協会 会長 渡邊昌子

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様をはじめ、関係諸機関の皆様のご理解とご支援を受け、本会事業が順調に進捗しておりますことを厚くお礼申し上げます。会員数も昨年12月に21,168名と前年より728名増となりました。組織力強化に努めて参ります。

昨年は全国各地で災害が発生し、多くの方が被災されました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。会員の皆様には、改めて災害への備えと点検をお願い致します。

本会では、第49回日本看護学会－慢性期看護－学術集会を9月に盛大に開催することができ、全国から延べ4,295名の参加がありました。ご参加の皆様と慢性期看護を担う看護職としての誇りと自信を持ち、自分らしく輝いて看護をすることの意義を確認できました。また、研究を通し看護実践を言語化する意味を考え、新たな看護を創造する機会となり看護の質向上に繋がったと評価しています。日看協並びに学会関係者の皆様がチーム一丸となり取り組んだ成果です。関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

少子超高齢・多死社会を背景に、看護職は多くの「看取り」を体験致します。これを受け、看護職のこれからの様々な「看とり」の支援のあり方を考える情報発信ツールとして、また国民の皆様や関係職種の皆様が「看とり」の状況を知り、関心を持って頂くきっかけ作りとして「看護職の心に残る看取り集」を発刊致しました。6月総会で会長賞・優秀賞6名の表彰と朗読を実施。語りから看護職の看護の本質を捉えた瑞々しい感性を参加者と共有でき、ご家族や看護職の心の整理と癒しの貴重な時間となりました。

重点項目の「看護基礎教育を考える会」は、大学、専門学校、本会役員を構成員として看護基礎教育4年制化を視野に年3回会議を開催し、取り組むべき課題を明確化するための意見交換を行いました。また、ナースセンターが取り組む日看協のモデル事業「地域における看護職確保とキャリア支援」は、富士・富士宮地区で病院診療所の医師、看護職、薬剤師、行政等多職種が参加し、研修会や相談業務等に取り組み、多くの参加者があり成果を得ています。本年度は、これらを継続し発展させること、訪問看護出向事業や3職能委員会連携の地域包括ケア推進等の事業に取り組めます。

今後も、皆様からの声を大切に事業展開して参ります。引き続きのご支援をよろしくお願い致します。



## 平成30年度 第4回定時理事会報告

■ 開催日時 平成30年12月18日(火) 14:00～16:00

■ 会 場 静岡県看護協会第1会議室

出席理事:17名、欠席理事4名 定款第38条に基づき、定足数12名を満たしていることを確認  
出席監事: 3名、欠席監事なし

### 1.協議事項(すべての事項について承認される)

- (1)2019年度 静岡県看護協会 事業計画・重点事項(案)
- (2)2019年度 教育計画(案)

### 2.報告事項

- (1)会員入会の申請状況
- (2)2019年度日本看護協会会長表彰候補者の推薦について
- (3)平成30年度自由民主党静岡県支部連合会・厚生問題対策連絡協議会への要望事項
- (4)平成30年度ナースセンター事業進捗状況

## 県知事訪問



平成31年1月7日(月)に渡邊会長をはじめ、柏崎専務、牧野常務、河井ナースセンター所長、村松事務局長が年始の挨拶に県庁を訪れました。

## 看護の流れを肌で感じてみよう(2020年度日本看護協会代議員及び予備代議員募集)

代議員10名と予備代議員21名を募集します。2020年度日本看護協会総会の開催日程及び会場は日本看護協会ニュース2月号で公示されます。全日程への参加ができる会員の方に限ります。看護協会の事業に参画するチャンスです。積極的に応募してください。

応募期間: 2019年(平成31年)2月1日(金)～2月15日(金)

応募要領: 往復はがき下記事項を記入し、静岡県看護協会へ送ってください

記載事項: ①代議員か予備代議員の別 ②氏名 ③年齢 ④職種 ⑤勤務先 ⑥連絡先住所(自宅または勤務先)宛  
宛 先: 〒422-8067 静岡市駿河区南町14番25号エスパティオ3階 公益社団法人静岡県看護協会 選挙管理委員会 宛



先人に聞く 忘れられない看護

## 妊婦に寄り添う助産師として

引き続き、富士宮市で50年以上にわたり、6000人弱の赤ちゃんを取り上げ、現役助産師として活躍する深澤静江さんのお話をお届けします。

深澤 静江さん



### 園長として

ある時、ラーメン屋さんの子どもが入園したが、反応が悪かった。私も悩んだが、早く見てもらった方が良くいと思い、障害児を扱う機関を紹介した。親は「うちの子に障害があるっていうことですか」と怒ったが、その後には早くわかって良かったと感謝された。

ある夜、9時を過ぎても迎えに来なかった子がいた。その日は父親が迎えに来ることになっていたらしいが、父親は急な出張で東京に行っていた。11時過ぎにやっと迎えに来た。当時は携帯電話もなく、自宅や会社に電話しても連絡が取れず、親が迎えに来るまでとてもハラハラして心配した。

### 大変だった時代

ある日、突然、富士宮市医師会から呼び出されて、助産院を辞めるよう言われた。義母も健在だったが、私が医師会との交渉を任された。委託契約の医療機関がないと助産院は続けられないため、富士宮保健所(当時)に相談に行った。中々話しが進まず「助産院を続けられないのでは・・・」と思ったが、当時の富士宮市役所の衛生課長が「富士宮市としても助産院がないと困るので、頑張って続けてほしい」と言ってくれた。私も頑張って、富士宮市医師会に何回もお願いに行った。富士宮市医師会の産婦人科医会の先生方が集団で嘱託医を引き受けてくれたので、城山助産院がある。1年に1回契約書を更新し、現在に至っている。



沐浴する深澤さん

### 与えられた役割

義母ひさよが静岡県助産師会富士宮支部の理事をやっていたのを引き継いだ。そのほかにも静岡県助産師会会長を平成17年度から平成22年度まで勤め、6年間の任期を全うした。

カラオケサークルは保育園を閉園した後の20年前、空いた教室でカラオケの先生を呼んできて、近所の人を集めて始めた。民生児童委員は2期6年勤めた。

区民館で寄り合い処を始めて、7年になる。立ち上げから代表をしている。昨年、寄り合い処の参加者で石けんにきれいな薄紙を貼って、文化祭のバザーで販売したところ、儲かった。みんながとても喜んで、今年も何かやりたいと楽しみにしている。寄り合い処の参加者募集の回覧を毎月出している。区民館は坂の下にあるが、参加者も増え、とても楽しい。



## 特集亥年の人集まれ! 2019

# 曲がったことが嫌いで辛抱強いって?亥年生まれ

平成31年は、亥年です。今回は亥年生まれの方々に、頑張りたいこと、行ってみたい所、大切にしている看護の3つのテーマから一つを選んでもらい、抱負を寄せてもらいました。

平成31年に  
頑張りたいこと



### 「仕事と家庭の両立」

静岡徳洲会病院 朝日原 杏奈

私が頑張りたいことは、仕事と家庭、どちらも大切にすることです。仕事では、副主任としてスタッフが働きやすい雰囲気作りをしています。家庭では、娘と一緒に色々なことに挑戦し、たくさん褒め、自分に自信が持てる子に育ってくれたら嬉しいです。娘と過ごす家での時間に、仕事も頑張る力をもらっていることに感謝し、時間を有意義に使っていききたいと思います。



### 「今年こそ亥パワーを」

湖山リハビリテーション病院  
照井由香利

今年、次男が二十歳の誕生日を迎えます。我が家は年子で、子育て中は手術室のある職場に勤務していたため、早退を申し出るのに苦労しました。ようやく子育てがひと段落し、今後は自分に意識を向け、健康の為にマイナス5kgを目標に自分の体調を万全にし、亥パワーを発揮して患者のケアをしたいです。



### 「ステップアップの1年に!」

磐田市立総合病院 曾布川 彰子

昨年から救急外来のチームリーダーをしています。今までも救急外来で勤務していましたが、働きやすい環境を考えたり救急の勉強を復習するうちにさらに救急の現場が好きになりました。常に緊張感を持つ現場である事に加えて、時には自分の知識や経験不足に悩む事もありますが、今年の干支である亥年にちなんで勢いを持ち成長していきたいと思っています。



### 「自立を目指して」

すずかけセントラル病院  
麦倉 友紀

平成31年に頑張りたいことは自立して業務を行う事ができることです。平成30年4月新人として入職し、覚えることがたくさんありました。まだ1人前の看護師として自立できていないので、経験を重ね自分で判断して動けるようになりたいと思います。また、業務だけでなく日常生活も充実させ、仕事との両立ができるようにしたいです。



### 「時間の活用方法」

市立湖西病院 前川 衣利子

仕事と家庭の両立で毎日忙しく過ごしています。歳を重ねていくうちに、体力の無さを実感し、身体の衰えを感じています。「疲れた」が口癖になっていて、これではいけないと奮起し、空き時間にランニングを始めました。1人で走る時間は、気分転換になり、忍耐力、体力もつき、自分にとってプラスになりました。忙しい中でも時間をうまく活用して、仕事と家庭の両立を頑張っていきたいと思っています。



### 「私が頑張りたいこと」

国立病院機構天竜病院  
二橋 利恵

私は、児童精神科病棟に勤務しています。プライマリー患者を受け持つようになり、患児の感情の表出を促していき家庭や学校生活が豊かになっていく様子をみると嬉しく思いますが、関わりの中で難しさや自身の未熟さを感じることもあります。今年は、先輩方のように患児の心に寄り添い信頼される看護師になれるよう努めていきたいです。



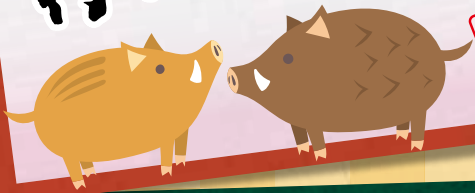
### 「忙しい時こそ、落ち着く」

浜松市リハビリテーション病院 赤田 弘治

私は、地元の滋賀を離れ浜松で暮らしています。インターンシップでこの病院の回復期病棟を見学し、ここに就職を決めました。入職当初は日々の業務に追われていた毎日でしたが、現在は業務にも慣れ心に少しずつ余裕を持てるようになってきました。しかし、慣れた頃にうっかりミスが出てしまいます。今年は改めて気持ちを引き締め、業務の前にはしっかりと準備して「忙しい時こそ、落ち着く」を実践して行きたいです。



## 平成31年に 行ってみたいところ



### 「めざせ花園」

JA静岡厚生連清水厚生病院  
松浦 知子

看護師をしながら育児に奮闘してきた時を経て、今年は上の子があっという間に高校3年生になります。中高一貫校で6年間ラグビーに打ち込んだ毎日でした。高校最後の年にぜひ全国大会、花園へ出場してもらい、応援に行きたいと思います。



### 「異国の世界遺産」

沼津市立病院 三須 香奈子

看護師の仕事始めて10年以上になりますが、毎年長期休みを頂き、海外へ行っています。異国の地へ赴き、世界遺産に触れたり見ることが好きで、普段見ることのできない景色を見たり経験をすることで、多くの刺激をもらい、自分の糧や仕事への励みにもなっています。今年はニュージーランドのマウントクックに行ってみたくと思っています。



### 「男性保健師東北交流会開催へ」

磐田市役所 伊藤 貴規

昨年、全国男性保健師の集いin静岡(1泊2日キャンプ)を企画、開催しました。磐田市のキャンプ場で「避難所ゴミの再利用ワークショップ」「こんちゅうクンと昆虫食」等の催しを通して、全国の男性保健師が笑顔で繋がりました。今年は、参加者が少なかった東北地方に磐田市の後輩男性保健師2人と遠征し、交流会を開催したいと思います!



## 平成31年に 大事にしている看護



### 「患者様・御家族の傍に」

岡村記念病院 下迫 苑花

日々の業務の中、自分に余裕がなくなることが多々あります。しかし、そのような中でも患者様に真摯に対応することを大切にしています。緊急入院や手術後の患者様は勿論、御家族の皆様も不安な気持ちが多くあると思います。患者様や御家族に一番寄り添えるのは看護師です。その役割を全うできるよう今後も初心を忘れずに努めていきたいです。



### 「地域の人が安心して暮らせる 医療・看護連携を」

下田メディカルセンター 大村 啓子

5巡目の干支です。町の保健師、子育てを経て今もこうして看護の場にいられることに感謝しております。若い頃は周りの見えない突進型でした。今は少しスピードが緩まった分、周囲にも目が向けられるようになったかな、と思います。過疎地でも人々が豊かな気持ちで生活が出来るよう、地域の医療関係者の方々と連携を図って行きたいです。



### 「初心の気持ちを忘れずに」

静岡市立静岡病院 佐藤 瑞恵

『病を抱えても、その人らしく明るく過ごせる力になりたい』私が看護の道を志した時の思いです。私は今循環器病棟で、退院後も病氣と向き合い、治療に励む患者さん達と関わっています。学生の頃目指した保健師とは異なる現場ですが、この思いを胸に、患者さんやご家族の支えとなるように、チームメンバーと協力していきたいです。



### 「笑顔で寄り添う看護」

焼津市立総合病院 池谷 圭織

私は現在HCU病棟に勤務しています。日々の重症患者を看護する中で大切にしている事は「笑顔で寄り添う事」です。医療機器を沢山装着している患者やその家族が感じる不安は、はっきりしないものだと思います。その中で、患者家族に寄り添い、笑顔で接する事で、少しでも安心感を与えられるような看護師を目指していきたいです。

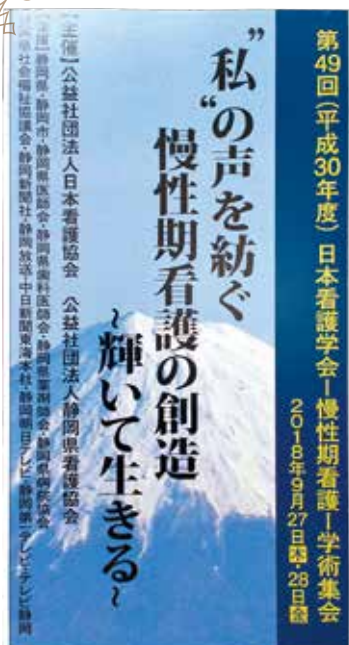


### 「寄り添える看護を」

藤枝市立総合病院 朝日 真実子

私は、小児科病棟に勤務しています。小児科では、患児はもちろんですが、そのご両親や保護者の方との関わりが重要です。私は今年、母親9年目を迎えました。母としてはまだまだなところもありますが、自分の経験を活かし、患児の看病で大変な思いをされているご両親、保護者の方に寄り添った看護ができるよう頑張ります。





## 特集

## 第49回 日本看護学会 ー慢性期看護ー学術集会

### テーマ

## “私”の声を紡ぐ慢性期看護の創造 ～輝いて生きる～

日時:平成30年 9月27日(木)・28日(金)

会場:静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ

全国から2日間で延べ約4300名の参加があり、基調講演、教育講演、シンポジウムのほか、口演発表は147題、示説発表は355題、合計502の一般演題があり、活発な意見交換が交わされました。



### 基調講演

## “私”の声を紡ぐ慢性期看護の創造 ～輝いて生きる～

岐阜県立看護大学学長 黒江ゆり子

私たちは、語ることで、自己の存在や他者との絆に気づかされて生きている。慢性的な病とともに生きている人たちにとって、自分の病について語る機会がないと、病とともにある自分がどのような存在なのかを知ること、考えることもできない。自らの思いを豊かに語ることができるように支えていくために、私たちにどのような姿勢が求められているのかを考えた。

### 教育講演

## AYA世代を通した新たな慢性期看護の創造

甲南女子大学教授 丸光恵

AYA世代とは、大人になりつつある10代後半から20代前半までの短い期間に、進学・就職・結婚などのライフイベントが連続し、夢や希望に満ちた華の時代である。この時期に慢性疾患とともに生きる患者への看護の最も重要な視点とは何かを共に考える機会となった。





次年度開催県の鹿児島県看護協会田畑会長にバトンタッチ



# シリーズ 活躍する認定看護師 新生児集中ケア・小児救急看護認定看護師

編

静岡県には400人余りの認定看護師がいます。今回は新生児集中ケア・小児救急看護認定看護師のうち5人を紹介します。

## 新生児集中ケア認定看護師



平野 佐由利

浜松医療センター

私は、妊娠早期に生まれた小さな命と関わっていく中で「救命」と「後遺症のない予後」について考えるようになりました。そのころ、新生児集中ケアの教育課程が開校したことを知り、専門的な知識、技術を持って、関わられるよう認定看護師を目指しました。

小さく生まれた新生児の合併症予防、後遺症なき予後のために、多職種と協働し、子宮内により近いストレスの少ない入院環境を整えられるよう活動しています。新生児の生命力、家族の我が子に対する思い、退院するときの家族の笑顔に力をいただいています。



寺部 宏美

総合病院 聖隷浜松病院

私は中学の時からNICUの看護師になることを目指し、新生児一筋で今日まで歩んできました。言葉で訴えることのできない子どもの表情や行動から気持ちを常に汲み取り、その気持ちに向き合いながら子どもと家族の持つ力を最大限にサポートできるようケアに努めています。そして、個別性に合わせた看護を提供できるようベッドサイドでの教

育や学習会の開催、医師と協働してケアの改善に取り組んでいます。また、講師として看護学生に対しても新生児看護の魅力や専門的な知識・技術を伝えています。今後も子どもにとっての「最善のケア」について考え続け、子どもの成長・発達を支援し、家族のはじまりを支え続ける存在でありたいと思います。



大木 直美

順天堂大学医学部附属静岡病院

私は、NICUやGCUに入院した新生児が頑張る姿や、子どもと家族が元気に笑顔で退院していく場面に感動し、新生児看護に魅力を感じました。新生児は言葉を話すことはできませんが、表情や動きなど行動で思いや状態を表現してくれます。その行動に気づき意味を正しく捉え看護していくことが求められます。根拠のある専門的な知識・技術を

持って新生児と家族により良い看護を実践していきたいと考え認定看護師を目指しました。子どもと家族に寄り添って、大切な小さな命を見守り支援したり、子どもの回復や成長を喜んだりしながら、安心して退院を迎えられるように、病棟スタッフと協力しながら活動しています。



中山 真紀子

静岡県立こども病院

新生児は、言葉は話せませんが自らサインを発し、ストレスフルな状態にあるのか、快適な状態にあるのかを他者に伝えることができるといわれています。500gに満たない赤ちゃんを受け持ったことです。ちょっとしたケアの工夫が赤ちゃんのストレスを軽減し、呼吸状態が安定したり、心地よさそうに眠る姿を見て、赤ちゃんのことがもっと

知りたい、優しいケアができるようになりたいと思ったのが認定看護師を目指したきっかけです。当院は、1000g未満の超低体重出生児が年間50名ほど入院します。どんなに小さな赤ちゃんが対象であっても、赤ちゃんの声なき訴えを丁寧に読み取り、赤ちゃんに優しいケアを実践したいと思っています。

## 小児救急看護認定看護師



松本 浩美

市立島田市民病院

現在小児・成人混合病棟に所属しており、0歳～100歳まで幅広い患者を対象に看護実践を行っています。小児科医の減少から、小児の入院患者数は年々減少傾向ではありますが、入院されたお子さんが安全・安心して入院生活が送れるように、病棟スタッフや他職種との連携を図っ

ています。病棟～外来～地域と活動の場を広げ、医療的ケアを必要とする患児への訪問診療同行や退院後訪問指導、看護学生への講義、市民講座等を行っています。「チャイルドファースト」を合言葉に今後も活動をしていきたいと考えています。

# 1

## コンピテンシーモデルを基盤とした看護管理 ～成長する組織づくり～

教育委員 石川 芳子

本研修は、看護管理者を対象に今年度新たに企画しました。高い期待と関心が寄せられ100名を超える応募があり、東京大学大学院竹村雪絵準教授を講師に迎え71名の研修生が参加しました。研修の内容は組織における看護管理者の役割と成果/ミッションとエンパワメントによる管理/コンピテンシーモデルについての講義と演習でした。演習ではコンピテンシーモデルを用いたグループリフレクションを経験しました。事前課題を用いた演習であったため、自身の看護管理をリフレクションしながら事実の確認や各領域における定義に基づいた客観的な振り返りとなり、自らの課題に気づき、整理することができました。研修後のアンケートでは「コンピテンシーは人を成

長させるツールとなる」「自分自身に活用できる」「面接に活かせる」など前向きな意見が多く、満足度の高い研修となりました。



# 2

## 重症心身障害児（者）対応看護従事者養成研修

教育研修部 大関 和子

県内の重症心身障害児（者）（以下重症児（者）とする）数は年々増加傾向にあり、特に在宅者数の増加が著しく医療的ケアが必要な人も増えています。本研修は「重症児（者）が身近なところで安心して適時適切な医療的ケアを受けられるように看護職

のエキスパートを養成する」ことを目的に平成22年から開催し今年で9年目となります。

研修は、講義1日と実習1日の2日間です。講義では、看護ケアをする際の根拠となる医学的知識として重症児（者）の理解、医療的ケアの必要性和ポイントを学び、その後に看護の基本、事例紹介や事例検討の演習を通して具体的に学び、いつもの状態を把握し異変に早く気付けることの重要性を改めて確認できました。またグループワークで自施設の課題が具体化し、新たに知識を得て迷っていたことの確認ができ、自分のケアや関わりに勇気をもらった受講生が多くいました。

実習は県内の8施設で実習施設の特徴的な体験ができました。看護技術、ケアプラン、ショートステイの受け入れやデイルーム活用、ケアの受け手との関わり方や多職種連携など多くの視点で自施設に活用できることが学べました。



# 3

## 効果的なプレゼンテーション技法

学術研究推進委員 鈴木 かおり

「効果的なプレゼンテーション技法」では、プレゼンテーションの基礎的知識と技術を学び、研究成果を効果的に示すグラフや図表等を作成する方法を学ぶことを目的に毎年行っています。研究的な視点を持って行った看護研究は看護の質の向上を果たします。その看護研究の成果を、いかに聴き手にわかりやすく、明らかとなったこと、知らせたいことを伝えるためのスキルを学ぶ貴重な研修であると考えています。

講義では「資料」は伝えるための「武器」との位置づけで、作成する上で大事な要素をグループワークも取り入れながら学びました。41名の受講生からは、満足度や目的の達成度など高く評価されました。また「看護指導に役立てる」「自分の講義の参考にしたい」「プレゼンの組み立て方、切り口などの視点を学べた。図にすること、概念化などを深めていきたい」などの感想が聞かれ、大変有意義な研修でした。

## 平成30年度看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業報告



### かけふく看看ネットワーク「掛川・袋井の地域包括ケアシステム」の構築に向けて

「在宅での看取りを考える」をテーマに急性期病院と在宅の医師による講演会、訪問看護ステーションや患者家族を交えたシンポジウムを11月18日に開催し、看護師、ケアマネ、ケースワーカー等76名参加しました。

「患者さんをはじめケースを通しての話が非常に分かりやすかった」「入院した時点から、最期の時をどう過ごすか意思決定できる支援をしていきたい」等の感想が聞かれ、今後も、意思決定支援力の向上を目指して活動していきます。

事業代表 八木 純

### 牧之原市・吉田町 お茶の香(こ)みらいく「地域で認知症の方を支えましょう」

今年度は、認知症があってもなくても「その人らしく時々入院ほぼ在宅」という目標を立て、研修会を開催しました。第2回は11月15日施設見学を兼ね、医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士による講演会を実施し、看護師を始めケアマネ・ヘルパー等118名の参加がありました。「認知症は早期診断治療が必要」「認知症は特別な病気ではない、私達の関わり方の問題」「認知症をもっと学びたい」等の意見が多数ありこれからも多職種一丸となり地域で学んでいく重要性が認識できました。また、看看連携を推進することで、毎年病院で行う褥瘡研修会にも地域の多職種が178名参加しています。今後、地域の学びたい強い思いを糧に多職種連携にも力を入れ、認知症の方を支えていきます。

事業代表 大井 陽江



## 平成30年度病院看護部管理者向け 暮らしをつなげる看護職員のためのフォローアップ研修報告

静岡県より「訪問看護研修事業～看護管理者の相互研修～」を受託し4年が経過、病院だけでなく領域の異なる施設に従事する看護職との実習を通して、お互いの役割を理解し住民の暮らしをつなげる看護に発展することを目指して開催している。

県内の実践状況を知り目標の再構築を考え当研修修了者400名余と施設看護部管理者に呼びかけたところ、175名（病院133地域包括25訪看13他4）の参加を得て、平成30年10月30日(火) 男女共同参画センターあざれあ大ホールにて研修を開催した。内容は、①高度急性期医療を担う病院と行政の協働による退院支援システム作りと実践（伊豆の国市、順天堂大学医学部附属静岡病院）、②急性期病棟看護師が在宅看取り患者の退院後訪問を実施して（藤枝市立総合病院）③病院から地域・在宅へ退院推進（訪問看護ステーション掛川、中東遠総合医療センター）等連携状況を報告した。

在宅ケア移行支援研究所 宇都宮弘子氏による「地域で“暮らす”そして“生きる”に伴奏する看護 Aging in place」講演後コーディネーターを交えてフロアと意見交換を行った。「県内の病院と地域がつながる実践に感動、病院看護師も今やるべきことが分かった」「生活者としての患者中心の看護に展望が見えた」等の感想がきかれました。



## 平成30年度看護職のキャリアと働き方支援による地域に必要な看護職員確保推進モデル事業報告

ナースセンターが地域に必要な看護職の安定確保・定着の推進のため、全国5県（静岡県、千葉県、岡山県、福岡県、熊本県）でモデル事業を実施しています。静岡県では富士・富士宮地域を対象に2つのイベントを開催しました。

### 地域での就職相談・交流会「ナースのお仕事フェア」

日時 平成30年11月23日(金・祝日)10:30～15:00

場所 富士市交流プラザ

内容

- ・地域の医療福祉施設16施設の就職相談・交流会
- ・ナースカフェ
- ・行政による広報
- ・看護の実践報告会

看護職だけでなく、一般の方も含め来場者は53人あり、スタンプラリーを実施し、各施設を回りました。(1施設平均7.8人)参加者からは「一般の方に施設の看護・介護をよくわかってもらえて良かった」と感想がありました。



### 勤務環境改善に関する研修会

日時 平成30年12月10日(月) 18:30～20:30

場所 富士宮市駅前交流センター「きらら」

内容

- ・ふじのくに医療勤務環境改善支援センターの紹介
- ・静岡県ナースセンターの取り組みについての報告
- ・講演「こんな職場で働きたい!!ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を目指して」
- ・事例報告「ヘルシーワークプレイスを目指す菊川市立総合病院の取り組み」

参加者80人。人材確保困難の現代、健康で安全な職場づくりに向け、今後の取り組むべき課題が示された。



## お知らせ

※相談・研修は看護職であればどなたでも受けられます。

### (1) 移動相談

県下14のハローワークにナースセンターの就業相談員が出向いて、就業について相談・支援しています。求人施設の参加による就職相談会を同時開催しています。(浜北を除く)  
予約は不要です。時間は9:30～12:00です。詳細はホームページをご覧ください。

|    | 下田  | 御殿場 | 富士  | 沼津  | 三島  | 清水  | 静岡  | 焼津  | 島田  | 掛川 | 浜松  | 磐田  | 浜北  | 細江  |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| 2月 | —   | —   | 6日  | 19日 | 26日 | 19日 | 13日 | 26日 | —   | 4日 | 13日 | —   | 15日 | —   |
| 3月 | 26日 | 26日 | 13日 | 19日 | —   | —   | 13日 | —   | 26日 | —  | 13日 | 19日 | —   | 19日 |

### (2) 再就業準備講習会

| 会場        | 日程                     | 申込              |                                                               |
|-----------|------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------|
| 静岡県看護協会会館 | 2月13日(水)・14日(木)・15日(金) | 常時<br>(TEL/FAX) | 最新の医療・看護の動向、演習(採血・吸引・救急蘇生)・電子カルテについても学びます。ブランクのある方、是非ご参加ください。 |

### (3) 地域での就職相談・交流会 『ナースのお仕事フェア』を実施しています。

お仕事をしていない方、転職をお考えの方から看護学生やお仕事をされている方も地域の施設のお話を気軽に聞きにいらしてください。お近くの会場でお待ちしています。

| 開催日時                    | 開催会場                | 開催日時                   | 開催会場              |
|-------------------------|---------------------|------------------------|-------------------|
| 2月3日(日)<br>10:00～14:00  | 御殿場市民交流センター ふじざくら   | 3月2日(土)<br>10:00～13:00 | 牧之原市 細江コミュニティセンター |
| 2月9日(土)<br>13:00～16:00  | プレ葉ウォーク浜北 2階 プレ葉ホール | 3月2日(土)<br>11:00～13:30 | 静岡県看護協会           |
| 2月23日(土)<br>14:00～16:00 | 東海アクシス看護専門学校        |                        |                   |

(4) 就職活動等で見学に一人で行くのが不安な方、ご希望があれば、就業相談員と一緒に同行します。お気軽に相談してください。

## \*\*\* ひとりで悩まないで、誰かに話してみよう \*\*\*

話した内容が他の人や職場に伝わることはありません。お気軽にご利用ください。

悩み専用ダイヤル

054-202-1780 月～金曜日 9:00～16:00

新人看護職専用悩み相談ダイヤル

090-2183-8734 はなしてみよう 毎週水曜日 9:00～16:00

(公社) 静岡県看護協会 静岡県ナースセンター (相談時間 9:00～16:00 本所のみ火・水・木 9:00～18:00)

本 所 : TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762  
 東部支所 : TEL/FAX 055-920-2088  
 西部支所 : TEL 053-454-4335 FAX 053-401-3510

下田相談所(毎週木曜日): TEL 080-2650-0327  
 天竜相談所(毎週火曜日): TEL 080-2650-0237

看護協会  
総務部

2019年度(平成31年度)会費納入をお願いします

(看護職賠償責任保険制度加入や、研修会等会員価格で受講していただくためにも、会費の前納にご協力をお願いします)

口座振替について

会費引き落としは、1月28日(月)です。ご登録口座の残高のご準備を1月25日までにお願いいたします。再振替をいたしませんので、資金不足等で引き落としができなかった場合は、後日ご自宅へ届くコンビニ収納払込票でお支払いください。

施設取りまとめ納入

2019年(平成31年)2月末までに、施設の専用口座へ会費をお振込みください。

施設用WEBで納入対象者を特定し、表示された人数分の会費合計金額をお振込みください。(払手手数料は施設負担でお願いします)

銀行振込・コンビニ収納

継続のお知らせに同封されています払込票で、お支払いください。

新規・再加入の方は、書類受理後、ご自宅へ払込票が届きます。届き次第お支払いください。

退会について

次年度の継続をされない方は、「退会届」と会員証の返却をお願いいたします。

退会届書式 静岡県看護協会ホームページ <http://www.shizuoka-na.jp/>

トップページのお知らせ欄「2019年度の入会手続きが始まりました」の頁よりダウンロードできます。

送付先: 〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階 公益社団法人静岡県看護協会 会員管理担当 宛

問い合わせ 総務部 054-202-1750

医療安全情報  
平成30年度 第5弾

## 医療安全推進のための取り組み

働き続けられる職場づくり推進委員会

### 【誤った患者への輸血】

輸血用血液製剤使用時に認証システムを導入している施設が増えてきています。しかし、認証システムを使用しなかったり、適切に使用しなかった為に事故が起きたという報告があります。

#### 事例

B氏には、A型のFFPが投与されていた。看護師は次に投与するFFPを準備しようと思い、冷凍庫からFFPを取り出した。しかし、引き出しが上下に隣接しており残数も同じだったO型のFFPを取り出し、確認しないまま解凍器にセットした。その後、バーコードによる輸血認証をしたところ、血液型が異なるというエラーが認証システムの画面上に表示されたが、看護師はエラーは機械の故障によるものと思い込み、そのまま接続した。輸血伝票の処理を行った際、輸血バッグについているシールの色が違うことに気づき、誤った型のFFPを投与したことが分かった。

| 認証システムの<br>使用状況 | 件数 |
|-----------------|----|
| 使用しなかった         | 5  |
| 使用した            | 8  |



| 使用が適切でなかった内容                             | 件数 |
|------------------------------------------|----|
| 患者から離れた場所で認証システムを使用し、別の患者のところに製剤を持っていった  | 3  |
| 認証システム使用後に製剤を保冷庫に保管し、投与する際に別の患者の製剤を取り出した | 2  |
| 認証システムに血液型が異なるというエラー表示が出たが、機械の故障と判断した    | 1  |
| 認証システムの画面が進まない理由を、医師の指示に問題があると判断した       | 1  |
| 投与開始後に認証システムを使用した                        | 1  |

○認証システムが導入されている施設は、投与直前に患者のそばで行いましょう。そうでない施設では、自施設のマニュアル遵守を徹底しましょう

参考 公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療安全情報 URL:<http://jqchc.or.jp/>



## クイズに答えると、抽選で5名様にクオカードが当たる!

次の4文字熟語の□に入る語を並びかえてひとつの熟語を作ってください。

空 □ 絶 □

日 □ □ 歩

答え. □ □

### 応募方法

葉書又はメールに答えをお書きのうえ、下記にお送り下さい。  
正解者の中から、抽選で5名の方にクオカード(1,000円分)を差し上げます。  
当選者は「Vol.6」に掲載させていただきます。(ペンネーム可)

右記内容をご記入のうえ、応募してください。

- 答え ● 氏名 ● 所属 ● 電話番号 ● 〒 ● 住所
- 看護しずおか感想 ● 看護協会へのご意見

お寄せいただいたご意見・ご感想は、看護しずおかに掲載させていただく場合があります。

締め切り 2月22日(金) 消印有効

葉書の場合の宛先

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25  
静岡県看護協会 総務部 看護しずおかクイズ係  
※はがきが62円に値上りしていますので応募の際はご注意ください。

メールの場合の宛先

メールアドレス  
kango@shizuoka-na.jp

### 当選者

「Vol.4」のクイズの答え: 紅葉

ペンネーム 165 様・後藤 淳 様・ひなたん 様  
さぐあんほちえ 様・近藤 祐貴 様



公益社団法人 静岡県看護協会

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階  
TEL.054-202-1750 / FAX.054-202-1751 編集責任者: 渡邊昌子

平成31年1月25日発行